平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	13	ー	5

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	臨床検査システム更新事業					
評価者	担当課名		国保病院	担当係名		庶務係
	管理職	職名	事務長	作成者	職名	係長
		氏名	髙橋健仁		氏名	新谷朋人
事業の概要	安心で適切な医療を提供するための体制を確保するために、臨床検査システムについて更新を行う。					

全体計画	/単年度繰返
（平成 23 年度～　　年度）	

事業費		
	国・道支出金	千円
	地方債	千円
	その他	4,031 千円
	一般財源	千円
	事業費計	4,031 千円

実施方法	■ 直営	□ 民間委託	□ その他（　　）

第５期総合計画（前期）	■ 登載事業	□ 非登載事業	優先度	B

事業の位置付け		
政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～
基本施策	6	保健・医療の充実
単位施策	5	地域医療体制維持の確立
事務事業の種類	■ 自治事務	□ 法定受託事務
その他計画・根拠等		

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	1,788 千円	2,243 千円
	雄武町負担額（一般財源）	千円	千円	千円	千円	千円
	合計	千円	千円	千円	1,788 千円	2,243 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	町民	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	医療機器の老朽化に伴う更新整備	安心で適切な医療を提供するための機器整備		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	検査機器の整備により、安心で適切な医療の提供を目指す	① 臨床検査システムの更新	目標年度	平成23年度
			目標値	1
			実績値	1
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	安心で適切な医療の提供が確保され、町民の健康保持・増進が図られる	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
臨床検査機器の更新	●臨床検査システムの見積合わせによる購入

3 事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	町民に安心で適切な医療を提供していくためには、常に使用する臨床検査システムの更新は必要な事業である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	臨床検査システムの更新により、システムの万全なサポート体制の構築と、来院者に対し迅速かつ安定した検査体制を整えることができた。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 ■時間短縮・作業軽減 □その他	院内のオーダリングシステムとの連携を考慮し機器選定をおこなうとともに、見積合わせによる導入により事業費の抑制を行った。また、本システムの更新により、検査処理時間が短縮し、来院者の待ち時間短縮等のサービス向上にもつながった。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	安定した医療体制整備及びサービスの向上は町民が常に望むものであり、医療サービスの受益は町民全般に及ぶものであることから、本事業は公平である。

4 総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
計画どおりにシステムを更新し、安心で適切な医療の提供及びサービス提供の体制の確保が図られた。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
本システムの更新は病院の経営状況からリース導入としたところであるが、安心で適切な医療の提供及びサービス提供のためには必要な事業であることから、現状による継続が適当である。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）